



第92期中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

川本産業株式会社

証券コード 3604



会社概要

■会社概要(2021年9月30日現在)

社 名 川本産業株式会社

設 立 1931年1月 資 本 金 883,000,000円

従業員数 244名(単体、出向・パート・アルバイト除く)

₩ (2021年9月30日現在)

※代表取	締役	社長	福	井		誠
※取	締	役	小	澤	徹	也
※取	締	役	中	村	英	己
※取	締	役	吉	田	康	晃
※取	締	役	河	野	寿	序
取締役	監査等	委員	福	田	健力	比郎
取締役	監査等	委員(社	L外) 親	泊	伸	明
取締役	監査等	委員(社	上外) 田	中	美	帆

※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

■執行役員(2021年9月30日現在)

上席執行役員 東濱花山内藤 有行役員員 古代 投員員 其博和 其博和 真博和 真 行役 役 役 员员 计行 役 员员 计 行 役 员

■株主メモ (2021年9月30日現在)

事 業 年 度 毎年4月1日~翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月下旬

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社

上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

証券コード 3604

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数………16,000,000株 発行済株式の総数………6,000,000株 株主数………4,710名

大株主(2021年9月30日現在)

株主名 持株数(千株) 持株比率(%) エア・ウォーター株式会社 2,903 50.10 株式会社TK 269 4.65 川本 武 260 4.49 楽天証券株式会社 67 1.16 株式会社SBI証券 43 0.75 佐々木 愛子 36 0.62 嗣江 建栄 35 0.61 小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48 株式会社大木 26 0.45			
株式会社TK 269 4.65 川本 武 260 4.49 楽天証券株式会社 67 1.16 株式会社SBI証券 43 0.75 佐々木 愛子 36 0.62 嗣江 建栄 35 0.61 小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
川本 武 260 4.49 楽天証券株式会社 67 1.16 株式会社SBI証券 43 0.75 佐々木 愛子 36 0.62 嗣江 建栄 35 0.61 小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48	エア・ウォーター株式会社	2,903	50.10
楽天証券株式会社 67 1.16 株式会社SBI証券 43 0.75 佐々木 愛子 36 0.62 嗣江 建栄 35 0.61 小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48	株式会社TK	269	4.65
株式会社SBI証券 43 0.75 佐々木 愛子 36 0.62 嗣江 建栄 35 0.61 小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48	川本 武	260	4.49
佐々木 愛子 36 0.62 嗣江 建栄 35 0.61 小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48	楽天証券株式会社	67	1.16
嗣江 建栄 35 0.61 小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48	株式会社SBI証券	43	0.75
小津産業株式会社 33 0.58 川本 稔 28 0.48	佐々木 愛子	36	0.62
川本 稔 28 0.48	嗣江 建栄	35	0.61
	小津産業株式会社	33	0.58
株式会社大木 26 0.45	川本 稔	28	0.48
	株式会社大木	26	0.45

^{※1.} 持株比率は自己株式(204,480株)を控除して計算しております。2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

■事業所

本 社 大阪府大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル 東 京 支 社 東京都中央区新川1-24-1 DAIHO ANNEX 8 階

名古屋営業所 愛知県名古屋市中区千代田5-5-15

広島営業所 広島県広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル9階

福岡営業所 福岡県福岡市博多区綱場町8-23 朝日生命福岡昭和通ビル2階

大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20

子 会 社 浙江川本衛生材料有限公司 中国浙江省

ニシキ株式会社 福岡県福岡市博多区綱場町8-23 朝日生命福岡昭和通ビル2階株式会社サカキL&Eワイズ 三重県松阪市上川町3639-21

川本産業株式会社



この報告書は、環境に配慮し、 植物油インクを使用しています。

〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル TEL.06-6943-8951



代表取締役社長執行役員





株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス 感染症という世界的な危機に際し、医療従事者をはじめとした感染防止にご尽力くださっている 方々に、深く感謝を申し上げます。

第92期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日)を終了いたしましたので、業績の概要および今後の取組みについてご報告申し上げます。

当中間期の経営成績の概況

上期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株の出現による感染拡大を受け、 緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の再度発令・延長など、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属する医療衛生材料業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療機関のみならず商業施設や一般家庭においても感染防止に対する取組みが行われ、全国的にマスクや手指消毒剤などの感染管理製品の需要が高まりました。足元では、品薄だった感染管理製品も潤沢に市場に出回っており、前年同期と比較すると需要は落ち着いております。また、当業界は政府による医療費適正化に向けた取組みの流れの中にあり、衛生材料を含む医療消耗品は引き続き価格競争が続いております。加えて、原材料費の高騰やサプライチェーンの問題など、厳しい事業環境が継続すると予想されます。

育児用品の業界におきましては、2020年の国内出生数は85万人を下回り、5年連続で低下するなど、マーケットの縮小に直面しており、長期的には厳しい事業環境が想定されます。

このような状況の下、製造事業の売上高の拡大や原価低減、また、感染管理製品の拡販に取り組みました。感染管理製品は前年同期ほどの特需はなく、結果、上期の連結業績は、売上高15,094百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益355百万円(同55.4%減)、経常利益414百万円(同50.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益333百万円(同50.5%減)となりました。

財務面では、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は31.7% (前連結会計年度末は31.1%)となり、0.6%の改善となりました。

課題への取組み状況

当社はメディカル事業、コンシューマ事業ともに国内製造事業の売上高の拡大、および利益率の改善を最重要課題として認識するとともに、拡大した感染管理製品の市場に注力してまいります。具体的には、自社ブランドの製品開発、製造受託事業の拡大、グループ各工場の生産性を上げるための投資を継続して実施してまいります。感染管理製品につきましては、販売のみならず、原料・資材を安定的に供給できる仕入先の確保にも取り組んでまいります。加えて、事業拡大のスピードを上げるために医療や介護、育児用品などの周辺事業のM&Aも実施していきたいと考えております。次に具体的な取組み状況を記載いたします。

1. 市場ニーズに合わせた製品開発体制

2021年10月より、マーケティング本部の機能をメディカル営業本部、コンシューマ営業本部の 傘下にそれぞれ設置いたしました。各事業の市場ニーズに合わせた製品開発や販売戦略を立案 し、スピーディな自社ブランド製品の開発・販売に取り組んでまいります。

2. 製造受託事業の拡大

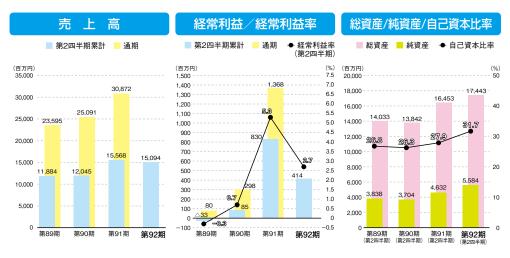
製造受託事業につきましては、主力の事業となるよう継続して注力しております。上期では、エチレンオキサイドガス滅菌(EOG滅菌)の設備を追加投資し、様々な条件のEOG滅菌に対応できるようにいたしました。今後も製造受託事業の拡大のために投資は継続してまいります。

3. 働き方改革や効率化への取組み

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけとして、当社においても在宅勤務の導入、WEB 商談・会議の推進、不要不急の出張制限など、様々な働き方改革に取り組んでまいりました。また、業務効率化や経費削減では、社内手続きの電子化や会議資料のペーパーレス化などが進みました。引き続き、働き方改革や効率化への取組みは継続してまいります。

今後も、目まぐるしく変化する事業環境に柔軟に対応し、経営の効率化やコンプライアンスを 高め、企業価値の持続的な拡大を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



■中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前中間期 (2020年9月30日現在)	当中間期 (2021年9月30日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
流動資産	13,143,621	13,882,557	13,482,046
固定資産	3,310,011	3,561,322	3,627,433
有形固定資産	1,611,842	1,810,621	1,647,068
無形固定資産	508,686	534,779	512,876
投資その他の資産	1,189,482	1,215,920	1,467,487
資産合計	16,453,633	17,443,879	17,109,479
流動負債	7,829,215	8,259,417	7,935,629
固定負債	3,991,627	3,599,656	3,810,213
負債合計	11,820,843	11,859,074	11,745,843
株主資本	4,179,066	5,122,042	4,875,625
その他の包括利益累計額合計	407,945	409,264	438,008
非支配株主持分	45,778	53,498	50,002
純資産合計	4,632,790	5,584,805	5,363,636
負債純資産合計	16,453,633	17,443,879	17,109,479

■中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間期 (2020年9月30日現在)	当中間期 (2021年9月30日現在)	前期 (2021年3月31日現在)
- 売上高	15,568,715	15,094,861	30,872,223
売上原価	12,484,053	12,418,611	24,975,210
売上総利益	3,084,661	2,676,249	5,897,013
販売費及び一般管理費	2,287,829	2,321,185	4,591,042
営業利益	796,831	355,064	1,305,971
営業外収益	65,563	72,859	120,488
営業外費用	31,831	13,696	57,860
経常利益	830,563	414,227	1,368,599
特別利益	_	89,109	1,100
特別損失	2,381	185	3,652
税金等調整前四半期(当期)純利益	828,182	503,151	1,366,046
法人税、住民税及び事業税	143,990	113,865	295,635
法人税等調整額	6,002	52,098	△ 308,610
四半期(当期)純利益	678,189	337,187	1,379,021
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	673,983	333,692	1,370,591

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間期 (2020年9月30日現在)	当中間期 (2021年9月30日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
営業活動によるキャッシュ・フロー	505,142	△ 62,495	977,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 39,979	△ 243,165	△ 141,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 492,047	286,619	△ 680,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6,630	29,519	8,966
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 33,515	10,478	164,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,195,615	1,359,921	1,195,615
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,162,100	1,370,400	1,359,921

株主の皆さまへ

セグメント別の概況

メディカル事業につきまして、感染管理製品の市場は、新型コロナウイルス感染症の発生前と比較すると拡大しており、拡大した市場に対して、マスクや手指消毒剤などを積極的に販売いたしました。しかし、前年同期ほどの特需はなく、売上は減少いたしました。製造受託事業では、医療機器等の加工や滅菌受託を拡大いたしました。口腔ケア製品や手術関連製品につきましては、外来や手術件数の減少もあり、計画していた数値には届きませんでした。結果、売上高4,324百万円(前年同四半期比14.5%減)、経常利益202百万円(同65.5%減)となりました。

コンシューマ事業では、感染管理製品、育児用品、介護製品、口腔ケア製品、各種衛生材料及び医療用品等の幅広い製品を、専門店、大手量販店、ドラッグストアや通信販売事業者などの多くの顧客に対し積極的に販売いたしました。上期では新型コロナウイルス感染症の新規感染者が増加し、特にカタログ通信販売及びインターネット通信販売事業者に対する感染管理製品の売上が計画以上となりました。また、専門店に対する育児用品等の販売も好調に推移いたしました。さらに新しい取組みとして、介護製品の新ブランド「ウィズエール」を立ち上げ、介護カタログ企業やドラッグストアチェーン等に対して積極的に販売いたしました。結果、売上高10,769百万円(前年同四半期比2.4%増)、経常利益479百万円(同1.8%増)となりました。

トピックス(公式SNS開設報告)

川本産業 公式SNS開設

当社は下記SNSを開設しております。

製品情報、キャンペーン情報など皆さまのお役に立つ情報を発信してまいります。







■「ステアジェル」公式Twitter

ユーザー名:@ster_gel

URL: https://twitter.com/ster_gel

■ 川本産業株式会社YouTube公式チャンネル

チャンネル名:川本産業株式会社

URL: https://www.youtube.com/channel/UCBC2VPL3XGCrlqBZfV3oB3w

■ 抗菌耳せん「mimot」公式Instagram

ユーザー名: kohkin mimot

URL: https://www.instagram.com/kohkin_mimot/

トピックス(展示会報告)

介護製品新ブランド「ウィズエール」2021年4月リニューアル発売 (新製品

介護製品ブランド「ポラミー」を新ブランド「ウィズエール」 ヘリニューアル新発売いたしました。

◆ブランド名の由来

介護する方、介護される方が「ともに(with)」 心身が健康的で、ふれあえる環境づくりを「応援 (Yell)」したいという想いを込めて「ウィズエール」 と名付けました。

◆ブランドロゴに込めた当社の想い

ふれあう2つの手のイラストは、介護する方と 介護される方とのつながりを表現しています。ウィズ エールのネイビーは「信頼」、オレンジは「応援する 気持ち」、ブルーは「清潔さ」を表しています。





防水シーツ

食事用エプロン

ワンタッチ肌着

入浴介助エプロン











※画像は一部製品です

袖付きディスポエプロン 2021年6月発売

新製品

防水性に優れたポリエチレン素材の袖付きディスポエプロンを新発売いたしました。

◆着脱しやすい

効率的で清潔な着衣が可能な折りたたみ方にしています。首部分に切れ込みがある ので簡単に脱衣も可能です。

◆袖がめくれ上がらないサムフックタイプ

サムフックタイプを採用することで、袖のめくれ 上がりによる操作性の低下や手首の露出などの 心配を減らし、快適に作業することが可能です。





ATCエイジレスセンターに出展

2021年3月1日よりATCエイジレスセンターにて「マウスピュア」関連製品等を出展しております。

ATCエイジレスセンターは、大阪市にあるATC (アジア太平洋トレードセンター) 内の、日本最大 規模で展開する介護・福祉・健康関連の常設展示場です。

一般の方も展示会場にて直接製品をご覧いただく事ができます。

- ●展示期間:2021年3月~2022年2月(常設展示)
- 場: ATC (アジア太平洋トレードセンター) ITM棟11F ATC エイジレスセンター
- ●展示品目:□腔ケア製品「マウスピュア」、介護製品「ウィズエール」
- ※社員は常駐しておりません。製品のご説明・ご質問はスタッフの方にお尋ねください。
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により入場制限を行っている場合がございますので、ご来場 の際はATCエイジレスセンターへ直接お問い合わせください。







〈エイジレスセンター入口〉

〈展示ブースの様子〉

ATCエイジレスセンターURL https://www.ageless.gr.jp/

「Medtec Japan 2021」に出展

2021年4月14日(水)~16日(金)に、東京ビッグ サイトにて、感染対策を十分に実施したうえで開催された 「Medtec Japan 2021」に出展いたしました。

「Medtec Japan 2021」は医療機器の製造・設計に 関する日本最大級の展示会です。

期:2021年4月14日(水)~16日(金)

場:東京ビッグサイト ●展示品目:受託事業関連製品



〈展示ブースの様子〉

-6--5-